



平成 24 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社ラックランド
代表者名 代表取締役社長 望月 圭一郎
(コード番号 9612 東証 2 部)
問合せ先 常務執行役員管理本部長 天明 恒男
(TEL:03-3377-9331 (代表))

第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 24 年 2 月 10 日に公表しました平成 24 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想(平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)と本日公表の同期間の実績値に下記のとおり差異が生じましたので、お知らせいたします。

なお、平成 24 年 12 月期通期連結業績予想につきましては、本日公表の平成 24 年 12 月期第 2 四半期決算短信に記載のとおり従来の予想からの修正はありません。

記

1. 平成 24 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|----------------------|-------|------|------|--------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 7,520 | 108 | 107 | 62 | 8 59 |
| 実績値 (B) | 8,603 | 133 | 149 | 95 | 13 13 |
| 増減額 (B-A) | 1,083 | 25 | 41 | 33 | — — |
| 増減率 (%) | 14.4 | 23.2 | 38.7 | 52.9 | — — |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績 | 7,147 | △13 | 10 | 7 | 1 00 |

2. 差異の理由

当社グループは、対処すべき課題である「主要マーケットにおける競争力強化と力を活かせるマーケットを開拓し、どのような環境下においても会社として成長していける基盤を構築すること」の実現に向け活動をしてまいりました。この結果、平成 24 年第 2 四半期連結累計期間の業績は予想を上回ることができました。各利益数値の増加理由の詳細は、以下のとおりであります。

【連結売上高】

当社グループは、これまでに蓄積した設計力や技術力を駆使したエンジニアリングセールスを積極的に展開するとともに、営業活動の幅を物流や加工センターへも広げ、顧客数やメンテナンス店舗数の増大による売上高の拡大に向け、注力してまいりました。

これらの結果、連結売上高は、予想を1,083百万円上回り、8,603百万円(予想比14.4%増)となりました。

【連結営業利益】

予想を上回る受注の好調及び効率的な原価コントロールによる粗利確保、及び諸経費の節減に努めた結果、連結営業利益は、予想を25百万円上回り、133百万円（予想比23.2%増）となりました。

【連結経常利益】

連結営業利益の上方、及び仕入債務の早期決済の推進により仕入割引額が予想を上回った結果、連結経常利益は予想を41百万円上回り、149百万円（予想比38.7%増）となりました。

【連結四半期純利益】

取引先の民事再生手続開始による貸倒引当金繰入50百万円の計上がありますが、連結売上高・連結営業利益・連結経常利益の上方により、連結四半期純利益は予想を33百万円上回り、95百万円（予想比52.9%増）となりました。

以 上